

## 平成24年10月 マンスリー レポート

集計企業数 **60** 社

### ① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	48,335,754 万円	100.0%	101.0% (102.6%)	45,896,158 万円	97.6% (99.3%)
食 料 品	39,990,194 万円	82.7% (84.1%)	100.8% (102.5%)	38,034,096 万円	97.6% (99.4%)
農 産	5,936,834 万円	12.3% (12.6%)	99.2% (101.6%)	5,654,892 万円	96.0% (98.6%)
水 産	3,854,709 万円	8.0% (8.0%)	99.8% (100.3%)	3,748,390 万円	96.5% (97.2%)
畜 産	4,663,343 万円	9.6% (9.4%)	101.2% (102.8%)	4,339,620 万円	97.8% (99.2%)
惣 菜	4,308,665 万円	8.9% (9.2%)	101.7% (103.6%)	4,081,632 万円	98.0% (100.0%)
日配食品	9,034,858 万円	18.7% (19.2%)	101.1% (102.2%)	8,593,783 万円	98.0% (99.4%)
加工食品	12,191,785 万円	25.2% (25.7%)	101.3% (103.3%)	11,615,779 万円	98.2% (100.5%)
生活関連	3,435,790 万円	7.1% (6.9%)	100.7% (101.9%)	3,305,984 万円	98.0% (99.1%)
衣 料 品	1,888,058 万円	3.9% (3.0%)	101.6% (100.0%)	1,775,045 万円	96.6% (96.7%)
そ の 他	3,021,712 万円	6.3% (6.0%)	103.3% (105.9%)	2,781,033 万円	97.2% (99.7%)

### ② 数 値

全店総売上高	48,335,754 万円	店 舗 数	4,296 店舗
総売場面積	8,382,990.6 m <sup>2</sup>	総従業員数	221,655 人

店舗平均月商	11,251.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,761 円 (98.1%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	5.8 万円 (5.7 万円)	平均店舗面積	1,951.3 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	19.1 万円 (18.9 万円)	パート比率(前月)	77.2% (77.3%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・昨年より土・日曜日が1日少なく、昨年比が下回った
- ・前半での気温が高く、鍋物関連などの動きが悪かった
- ・後半からは、気温が下がりホットメニューの動きが良くなった

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・野菜は、前半の相場安の影響で、売上が伸び悩んだ
- ・気温が下がり始めた中旬以降は、回復傾向に転じた
- ・果物は、梨・バナナの動きが悪く、みかん・りんご・柿・ぶどうの動きは良かった。中でも、食味の良かったみかんは、特に動向が良かった

### ○ 水産

- ・全体的には、水揚げ状況が悪く、相場状況が不安定な商品が多かった
- ・水揚げ状況が良くなかった生秋鮭、小型サイズなどで売上不振のさんまの影響により売上げくりにできなかった
- ・気温が高かったため、真鱈の動きが悪かった

### ○ 畜産

- ・気温の高い日が続いたため、鍋商材としての豚肉うす切り、鶏肉の動きが鈍かった
- ・後半になり、豚肉バラうす切りや鶏肉の切身、ウインナーなどの動きが良くなった
- ・牛肉のうす切り・切り落としの安価な商品の売れ行きが良かった

### ○ 惣菜

- ・季節商品のカキフライの動向が良かった
- ・米飯類では、新米の時期で、弁当類の動きが良かったが、おこわ類は苦戦した
- ・季節的に、煮物商材が拡大する中、和風惣菜が売上を伸ばした

○ 日配・加工食品

- ・前半は気温が高く、鍋物商材の動きが鈍かったが、後半は回復したが昨年を下回った
- ・夏以降の漬物不振が続いており、浅漬け、キムチの売上が10月も厳しかった
- ・コーヒー、紅茶、ココアの売上が悪く、前年売上を割った
- ・後半になると、カレー・シチューの動きが活発化した
- ・家庭での調理頻度の減少や喫食回数の減少などが要因か、インスタント袋麺の動きが良かった。また、高品質袋麺の登場でさらに売上を伸ばした

○ 「秋の行楽商戦」について

- ・お弁当商材の鶏肉、ナゲット、ミートボール、唐揚げ粉、ふりかけなどの動きが良かった。また、冷凍食品の動きも好調だった

○ 「ボジョレーヌーボー」について

- ・不作報道があり、商品供給が不安視されたが、入荷については問題なかった
- ・ HALFボトルや飲み比べセットなどの動きが良かった
- ・受賞ワインなどの味が良くグレードの高い商品の動向が良くなる一方で、ベーシックなボジョレーは、ダウン傾向にある

○ 「七五三、ハロウィン」について

- ・千歳飴はダウントレンド傾向となり年々、売上が厳しくなっている
- ・週末は、お寿司、お刺身などの売り込みも、売上伸びず不振だった
- ・年々、ハロウィン関連の商材は売上を増している。特に、大袋の菓子類が好調だった

以上